

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	地域包括ケア推進モデルハウス事業補助金 地域住民同士の支え合いのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてのモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。						
款・項・目	地域支援事業費 一般介護予防事業費 一般介護予防事業費						
所属等	福祉部 地域包括ケア推進課 電話 025 - 226 - 1281						

年 度		平成30年度（1年目）		令和元年度（2年目）		令和2年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	6,432	国等 5,628	6,432	国等 5,628	5,588	国等 4,890
	決算(千円)	5,428	国等 4,750	5,338	国等 4,671	5,377	国等 4,705
補助率		100%		100%		100%	
目 標		H30年度 地域の茶の間設置数 527箇所 R1年度 地域の茶の間設置数 537箇所 R2年度 地域の茶の間助成・補助件数 495箇所 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上	97.5%	514箇所	98.9%	531箇所	96.2%	476箇所
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		広報チラシ・事業者又は市ホームページ等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	×	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 実施団体は住民主体で本事業は非営利目的であり、財政基盤が脆弱であることから、当該補助率を設定した。今後も、住民主体の取組みを推進するための補助のあり方について、検討していく。 非営利目的かつ財政基盤が脆弱であること、実際の活動は切れ目なく実施しているため運営資金（補助金交付までの立替、食糧費や建物修繕にかかる対象外経費の積立金など）が必要であること及び利用料金を対象経費の一部や対象外経費への充当後の余剰を次年度の当該事業の運営に使用していることから繰越金が生じることはやむを得ない。今後も過度な繰越金が生じないように指導していく。				
	<g～hにおける取組>				
	目標未達成の原因分析 <期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 地域包括ケア推進モデルハウスは地域の茶の間の運営ノウハウを学ぶ場や人材育成の場としての機能を有している。今後は、この機能を波及させ、市内全域で支え合いのしくみづくりをさらに推進していく。					